

第2学年だより 第6号

～風にそよぐ青葉のたより～

2019年9月30日

横浜市立旭中学校

第二学年職員一同

発行 久保とみい

盛り上がった体育祭！練習の成果が発揮されました！



9月に入っても暑い日が続き、熱中症を警戒して昼休みの大縄練習が中止になるほどでしたが、体育祭当日は雲が多く、絶好の「体育祭日和」でした。

この日のために学年練習や色別練習の他に、クラスで自主的に集まって朝練もしてきました。その取組が発揮されて、どの競技も真剣で迫力あるものになっていました。そして学年種目で勝敗が見えた後などでも、最後まで声を掛け合い全力でやり抜く姿からは、スポーツを通してみんながつながりあう充実感が伝わってきました。競技なので勝敗は必ずありますが、それに向けて一つになる感覚を味わうことは、成長期においてとても大切な経験だと思います。

また競技だけでなく、各係の仕事を受け持っている委員や部活動の人たちも、自分から取り組み、体育祭の準備・運営をしっかりと支えていました。グラウンドの石を拾ったり、テントを張ったり、重い綱を担いで走ったり、並んでもらうために声を張り上げたり…いろいろな場所で多くの人たちが地道に活動していました。みんなのために働くことの大切さを理解しているからこそその動きだったと思います。ありがとうございました。

来年度は3年生として、1、2年生をリードする立場になります。さらに積極的に盛り上げていきたいですね。そのためにもこれからの1年間、さまざまな活動を通して青学年のリーダーシップを育てていきましょう。



【全員でバトンをつなぐ学級リレー】



【綱取り／あの綱に狙いを付けて！】



【息を合わせて四人五脚】



【背渡りノ一列に並んだ背中を駆け抜けよう】



体育祭が終ると今度は文化発表会です。各クラスによるステージ発表の練習も本格的になってきました。練習のようすを見にいくと、一生懸命に大きな声で次の動きを指示している人や、疲れてきた仲間を力づける言葉かけをする人、みんなで意見を出し合い何かを創りだそうとしている人たち等々、それぞれの場面で自分が果たすべき役割、出来る事を考え、実際に行動にうつしている姿が頼もしかったです。体育祭でクラスが団結した経験が、ここにも生かされているなど感じました。

今年度からの新しい取組で、最初の一歩の「何をするの？」からみんなで考えてきました。決められたことをやるだけでは足りない、自らやりたいことを発信し、実現のための計画を立て、工夫をこらしながら創り上げていく。とても難易度の高いチャレンジです。文化発表会の本番までに、うまくいかなくて投げ出したくなることや、もうこの程度でいいじゃん目標を下げたくなることがあるでしょう。仲間の中での対立も起こるかもしれません。それでも、それを乗り越える意志の強さ、相手のこと考える心の柔らかさをこの行事から学んでほしいと思います。一人ひとりが自分の可能性を見つける文化発表会にしましょう。

体育祭ふりかえりから ～文化発表会につながるクラスづくり～

何事にも楽しくやる。これからの行事でも、勝っても負けても楽しい行事をやりとげたい。

誰かを責めたりせず失敗した時はアドバイスや案をみんなで出し合うクラス。

みんなが励まし合って協力できるクラスにしたい。

本番と同じように練習でも高め合えるクラス。

1つのことに全員が真剣になれるクラス。

お互いに意見を言い合い、わかち合えるクラス。

自分たちの力を出し切れるクラス。

あきらめないで全力で取り組むクラス。

全員が自分の意見を言えるクラスを目指す。

みんながそれぞれの役割を果たすことができるクラス。



保護者の皆様へ



体育祭へのご協力、応援ありがとうございました。文化発表会では、また違う面での活躍をお見せすることが出来ると思います。ご来校をお待ちしております。今年度の文化発表会は10月23日(水)に開催されます。発表会場は体育館・校舎内となりますので、うわばきをご用意ください。なお時程等の詳細に関しましては、先日配付した案内プリントをご覧ください。

お知らせ

10月3日(木)に区の研究授業のため、2年生のみ午後の授業がありません。お弁当のご用意をお願いします